公安委員会説明資料
令和８年６月17日
生活安全部人身安全・少年課

夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止対策の推進について

概　　要	夏休み期間中、少年は様々なしがらみから開放されて気が緩みがちになり、飲酒や喫煙、夜遊びといった非行の兆しが出やすい傾向にあるほか、ＳＮＳの利用により、見ず知らずの大人と知り合って性犯罪や誘拐といった犯罪被害に遭うことが懸念される。 また、昨今、少年が安易な考えから闇バイトに応募するなどして匿名・流動型犯罪グループに関与し、凶悪な犯罪を実行する事案が相次いで発生するなど、大きな社会問題となっている。 県警察では７月の新潟県警察月別広報重点である「夏休みにおける少年の非行・犯罪被害防止と有害環境の浄化」に併せて、学校等の関係機関と連携して、少年の非行と犯罪被害の防止対策を推進する。
令和７年中の県内における少年非行等の状況	**１　不良行為少年の補導状況** 補導総数の約４割が７月～９月の補導。 **２　少年の検挙・補導状況** 検挙・補導数は４年連続で増加し、過去10年では最多。 **３　ＳＮＳに起因する児童の学識別性被害状況** 被害児童は小学生１人を含む27人。中･高校生が約93%を占める。
課　　題	**○　フィルタリングとペアレンタルコントロールの利用** ・　令和７年中、被害児童のフィルタリング利用は無し。 ・　少年のインターネット利用平均時間は年々増加傾向。
推進事項	**１　児童や保護者に対する非行防止・情報モラル教室の開催** ・　インターネット利用に伴う危険性や犯罪被害防止、闇バイト等の犯罪へ加担することの悪質性等、少年の心に響く広報を実施。 ・　保護者には、フィルタリングやペアレンタルコントロールの有効性と普及促進に向けた広報を行う。 **２　サイバーパトロールによる不適切な書き込みへの注意喚起メッセージの投稿** ・　少年サポートセンターが実施するサイバーパトロールにより、少年の性被害につながるおそれのある不適切な書き込みに注意喚起のメッセージを送信する。 **３　ＳＮＳに起因する犯罪被害防止広報動画を活用した広報の推進** ・　県警公式YouTubeチャンネル「高校生による非行防止等啓発動画」で非行防止・犯罪被害防止メッセージを発信する。 **４　関係機関・団体との協働による各種広報啓発活動の実施** ・　行政機関やボランティア団体等と連携し、様々な機会を通じ、非行・犯罪被害防止等の広報を実施する。
そ　の　他	１　７月18日(土)に新潟市等と協働で非行防止に関する街頭広報を行う予定のほか、７月中にテレビやラジオを通じた広報を実施予定。 ２　夏休み前にかけて、県内の各学校で非行や闇バイト等への加担防止広報や、情報モラル教室を開催予定。

今後の幸せな人生のために

～闇バイトで人生を棒に振らないために知っておくべき 5 つのこと～

警察庁・文部科学省・こども家庭庁

1． 必ず捕まります

逮捕されるまでこき使われます。
強盗をして人が亡くなれば死刑か無期拘禁刑。見張り役でも同罪です。闇バイトを他の人に紹介しただけでも捕まります。

2． 先輩、友達からの誘いでも応じてはいけません

犯行グループは、誰でもいいから身代わりとなる都合のいい使い捨てを求めています。お金が払われると思ったら大間違いです。
未成年だから罪が軽いなんてことはありません。

3． 銀行口座やスマホを売ってはいけません

通帳やキャッシュカードを売ることは犯罪です。
二度と銀行口座を作れません。
スマホやＳＩＭカードを勝手に売ることも犯罪です。

4． 外国に渡航すれば、二度と戻れなくなるかもしれません

監禁され、暴力を振るわれることもあります。命を落とすかもしれません。

5． 今ならまだ引き返せます

個人情報を送ってあなたや家族の安全を脅かされても、すぐに110番してください。警察はあなたと周りの方の安全を必ず守ります。

公安委員会説明資料
令和８年６月17日
刑事部組織犯罪対策課

匿名・流動型犯罪グループ総合対策推進会議の開催について

開催目的	令和７年中の特殊詐欺及びＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の被害が過去最悪となるなど、匿名・流動型犯罪グループへの対策が治安対策上の喫緊の課題となっており、警察の総力を挙げて取り組まなければならない。 みだしの会議を開催して関係部門間の連携強化を図ることで、部門横断的な情報共有、グループの実態解明などの総合対策を強力に推進し、あらゆる法令と捜査手法を駆使して、中核的人物の早期検挙と被害の防止を図り、同グループの撲滅を推進することを目的とする。
開催内容	１　開催日時 令和８年７月８日（水）　午前10時から午前11時30分まで ２　開催場所 警察本部４階　大会議室 ３　出席者 本部長 刑事部長（推進本部長） 組織犯罪対策本部長（司令塔） 組織犯罪対策課長 「匿名・流動型犯罪グループ総合対策推進本部」所属担当者 ４　次第 (1)　本部長訓示 (2)　刑事部長指示 (3)　組織犯罪対策本部長指示 (4)　組対企画指導・匿流実態解明補佐連絡 (5)　特殊詐欺特別捜査室長連絡 (6)　匿流実態解明係教養 (7)　特殊詐欺特別捜査室教養 (8)　生活安全企画課安全安心推進室教養 (9)　刑事総務課適正捜査指導官指示 (10)　組織犯罪対策課長総括指示
その他	報道発表を行い、会議の冒頭にマスコミ取材を入れる予定。

公安委員会説明資料
令和８年６月 17 日
交通部交通企画課

高校生を対象とした自転車交通安全動画コンテストの実施について

項目	内容
主催	公益財団法人新潟県交通安全協会　　新潟県警察 協力：新潟県（交通安全対策連絡協議会）
目的	自転車の利用機会が多い高校生に、自転車の交通ルール遵守・安全利用について自発的に考えさせるとともに、動画制作を通じて、交通参加者としての責任を自覚させ、社会参加・社会貢献意識を育むことを目的とする。
対象者 （応募資格）	県内の高等学校等に在学中の高校生とし、１チーム５人までとする。 （中等教育学校在学生は４～６年生とする）
実施時期	募　集：令和８年７月１日(水)から９月９日(水) 審　査：令和８年９月下旬 表彰式：令和８年 10 月中旬
動画条件等	○　同世代者に視聴することを想定した、１分程度以内の実写とする。 ○　県警公式 YouTube チャンネルで公開することに同意していること。 ○　適法・妥当な方法・内容で撮影・制作されていること。 ○　第三者の権利・利益を侵害し、又は利する内容が含まれないこと。
募集方法	新潟県整備の電子申請システムとクラウドストレージ機能を使用し、インターネット経由で応募フォームや動画を送受信する。
審査方法	○　事務局（交通企画課）で一次審査を行った後、関係機関・団体の役員等を招集して審査会を開催し、優秀作品を選定する。 ○　適法性・妥当性・訴求力・芸術性・技術力（５項目）で審査する。
賞・賞品	金　賞　　１作品（アマゾンギフトカード　５万円分） 銀　賞　　２作品（　　同　　各３万円分） 銅　賞　　３作品（　　同　　各２万円分） 佳　作　　２作品（　　同　　各１万円分） ※　その他、各受賞者にメダル又はトロフィーを贈呈予定
動画の 活用方法	金賞１作品・銀賞２作品（合計３作品）は、選定後１年間、県警公式 YouTube チャンネルで公開するなどして、自転車安全利用の広報啓発に活用する。

2026年 新潟県高校生 自転車交通安全 動画コンテスト



みんなの応募
待ってます！

最優秀作品賞（金賞）

アマゾンギフト券 50,000円分

★その他作品賞あり

募集期間 令和8年 7/1(水)～9/9(水)

応募要項はこちら↓

★自転車安全利用五則を守ろう！

① 車道が原則、左側を通行　歩道は例外、歩行者を優先
② 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
③ 夜間はライトを点灯
④ 飲酒運転は禁止
⑤ ヘルメットを着用

主催 公益財団法人新潟県交通安全協会 | 新潟県警察　　協力 新潟県交通安全対策連絡協議会